

三原 文庫

平市公報

第十號

昭和十四年一月十五日

新年祝賀式舉行

戰勝ニ輝ク昭和十四年新年祝賀式ハ一月一日午前十時市公會堂ニ於テ左記
順序ニ依リ舉行會員九八八名參集市長年頭ノ辭誓詞ニ次キ會員野崎市會議
長ノ祝詞萬歲三唱嚴肅裡ニ式ヲ閉テ簡素ナル祝宴ヲ開キ祝意ヲ表シ十一時
三十分散會シタリ。
當日祝賀式ニ於ケル市長年頭ノ辭及誓詞左ノ如シ。

式 順

- 一、會 員 着 席
- 一、開 式 ノ 辭
- 一、國 歌 齊 唱
- 一、宮 城 遙 拜
- 一、年 頭 ノ 辭 (市長)
- 一、誓 詞 (市長)
- 一、會 員 祝 詞 (市長)
- 一、萬 歲 奉 祝
- 一、閉 會 唱 詞
- 一、開 會 安 式

年 頭 ノ 辭

旭旗萬戸ニ翻リ瑞雲天ニ漲ル輝カシキ戰勝第二年ノ新春ヲ迎ヘ茲ニ恭シク
聖壽ノ無窮ヲ壽キ奉リ竹ノ園生ノ彌榮ヲ仰キ奉ルコトハ吾等臣民ノ齊シク
無上ノ慶福トスル所デアリマシテ市民各位ト共ニ新裝成リタル本市公會堂
ニ相會シ祝賀ノ式ヲ行フハ不肖ノ最モ光榮トスル次第デアリマス。
支那事變勃發以來時局益多端ニシテ申スモ畏キコトナカラ 天皇陛下ニ於
セラレテハ御乾德愈高ク夙夜萬機ヲ憂ヘセラレ東亞新秩序建設ノ爲ニ御軫
念遊ハサレ 皇后陛下ニハ倍々御仁慈洽ク御坤德淑カニ戰傷病者ノ身上、
出征軍人ノ遺家族ニ對シ常々大御心ヲ注カセラレ御手ツカラ繡帶ヲ御製遊
ハサレ又御歌ヲ下シ賜ヒテ御慰問遊ハサレマスコトハ洵ニ恐懼感激ノ極ミ
デアリマス。吾等ハ一層忠誠ノ念ヲ堅メ義勇奉公ニ渾身ノ努力ヲ捧ケ以テ
宸襟ヲ安シ奉ラネハナラヌコトヲ痛感スルモノデアリマス。
征戰既ニ一年有半今ヤ北支、中支、南支ノ要域ハ悉ク我忠勇義烈ナル皇軍
ノ掌中ニ歸シ抗日將政權ハ完全ニ地方ノ一政權ニ墮シ了ツタノデアリマス
然シテカラ飽クマテ抗日容共政策ヲ固執シ又英、佛、ソ等ノ諸國ハ瀕死ノ
蔣政權ニ對シ極メテ露骨且ツ陰險ナル援助ヲ與ヘテ吾東亞新秩序ノ樹立ヲ
妨害シツ、アルモ我國ハ如何ナル障礙カアラウトモ斷々乎トシテ之ヲ擊破
シ征戰最終ノ目的ニ奮進シテ以テ東亞永遠ノ安定ヲ期スヘキテアツテ斯ク
ノ如キ戰績ヲ收メタル皇軍ノ偉勳ニ對シ吾等ハ衷心ヨリ感謝感激ニ堪ヘサ

ルト共ニ第一線將兵カ其ノ間克ク炎熱ニ耐ヘ酷寒ヲ冒シ時ニ惡疫癘癘ト戰ヒ百難ヲ排シテ一死君國ニ捧ケシ無言ノ凱旋幾多勇士ノ英靈白衣ノ勇士ニ對シ衷心ヨリ默禱感謝ヲ捧ケ其ノ忠烈ト勞苦ヲ想フトキ吾等ハ決シテ枉席ノ上ニ晏如タルヲ得サルハ元ヨリ申ス迄モナク將來益皇軍將兵ノ慰問ニ銚後ノ護リニ一層努力精進シ後顧ノ憂ナカラシムルコトカ銚後吾々國民タルモノ、責務テアルコト、信スルモノテアリマス。

而シテ時局ハ愈長期建設戰ノ段階ニ入り東亞新秩序ノ確立ニ邁進スルコト、ナツタノテアリマス。即チ東亞新秩序ノ建設ハ申ス迄モナク容共抗日ノ蔣介石政權ヲ飽ク迄打倒潰滅セシメ一面更生新支那建設ノ使命ヲ以テ成立セル親日防共ノ新政權ヲ援助育成シ所謂共存共榮ノ精神ニ基キ日滿支ヲ樞軸トスル東洋民族ノ大同團結ノ下ニ相互善隣、共同防共、經濟提携ヲ實現シ東洋永遠ノ平和體制ヲ確立スルコトカ我日本ニ課セラレタル重大使命テアルト信スルモノテアリマス。サレハ昭和十四年ハ此ノ重大使命ニ向ツテ敢然トシテ邁進シ之ヲ具現スヘキ日本民族試練ノ第一歩ヲ印スヘキ眞ニ意義深キ年テアルト申サネハナリマセヌ。吾等國民ハ有史以來未曾有ノ聖業達成ノ爲ニハ事變カ如何ニ長期ニ亙ルトモ如何ニ艱難カ加ハルトモ益勇猛心ヲ振ヒ起シ堅忍持久物心總動員ノ國策ノ大線ニ副フテ舉國一致生活ノ刷新改善ニ、物資ノ消費節約ニ、貯蓄ノ勵行ニ努ムルト同時ニ時局ニ對應シテ生産ノ増加ニ力ヲ致シ經濟力ノ擴充ヲ圖リ以テ銚後ノ護リヲ強化シ長期聖戰ノ目的遂行ニ邁進セネハナラヌコトヲ一層深ク感スルモノテアリマス。吾カ平市政ノ昭和十三年ヲ回顧スレハ市制實施直後ノ建設時代テアリ萬全ノ方策ヲ以テ銳意諸般ノ施設遂行ニ努力邁進ヲ要スルノ秋支那事變ハ益擴大進展シ爲ニ時局ノ影響鮮少ナラサルモノアリシト雖概シテ大ナル蹉跌ヲ見ルコトナク着々トシテ既定計畫ノ施設經營圓滿裡ニ進行シツ、アルハ御同慶ニ堪ヘサルトコロテアリマス。就中躍進大平市ヲ象徴シ文化ノ殿堂タル公會堂ハ當初豫算額八萬圓ヲ以テ計畫着工シタルトコロ物價勞銀昂騰ニ

依リ約四萬圓ノ増額追加ヲ必要トスルニ至リ市民各位ノ熱誠ナル協力ト理解アル篤志家ノ援助トニ依リ豫定ノ如ク進行ヲ見マシテ客年十月三日竣功式舉行以來年末迄ノ利用回数實ニ六十五回ニ及ヒ社會文化ノ進展ニ寄與スルトコロ頗ル大ナルモノアルハ誠ニ欣快ニ禁ヘサルトコロテアリ附屬日本館亦年末ニ竣功ヲ告ケタルヲ以テ將來之ガ利用ハ從前ニ倍加スルニ至ルヘキヲ信スルモノテアリマス。次ニ第四小學校講堂並校舍增築工事ハ客年七月十五日功ヲ竣リ舊平窪村多年ノ懸案ヲ解決シ國民教育ノ伸張ニ將又各種集會ニ善用セラレ社會文化ノ發達ニ貢獻スルトコロ大ナルモノアルハ深ク喜ヒトスルトコロテアリマス。又市民ノ待望スル市立商業學校ノ新築ハ總工費金拾壹萬四千五百圓ヲ以テ既ニ着工シ明年度新學期開始前ニ竣功ノ豫定ヲ以テ進行中テアリ又第五小學校敷地ニ充當スヘキ場所モ夫々手續ヲ完了シ之カ埋立工事中テアリマス。

更ニ社會事業方面ニ在リテハ公益質屋ノ經營ヲ企圖シ手續中ノ處客年十月二十七日主務大臣ヨリ之レカ設置認可ヲ得建築及運用金起債許可申請ニ付テハ目下主務省ニ於テ審議中ナルヲ以テ近ク其ノ指令ヲ俟ツテ之レ又年度内ニ開設ノ豫定テアリマシテ社會事業ニ關シ市ト連繫協力シツ、アル方面委員ヲ主體トスル平市政會ハ事業トシテ平陽女學校舎ノ一部ヲ借受ケ縫製作業場ヲ設ケ密針四十三臺ヲ設備シ出征軍人遺家族ヲ主トシテ作業ニ從事セシメ銚後援護施設トシテ極メテ良好ナル成績ヲ舉ケツ、アルハ洵ニ意ヲ強フスル次第テアリマス。殊ニ同會ハ本年度ニ於テ隣保館及援産場ヲ新設シ事業ノ擴大強化ヲ圖ルヘク目下着々手續中ニ屬スルヲ以テ之カ實現ヲ見ルニ至ラハ公益質屋ト相俟ツテ社會事業ノ雙璧トシテ斯業ノ發達ニ寄與スルトコロ蓋シ大ナルモノアルヲ信シテ疑ハサルモノテアリマス。又軍事援護方面ニ在リマシテハ出征軍人ノ歡送ニ軍人遺家族、傷病將兵ノ慰問ニ、努力奉仕ニ、其ノ他ノ軍事援護ニ關シテハ在郷軍人會、行政區長青年團、方面委員、愛國婦人會、國防婦人會其ノ他ノ婦人團體等トヲ始メ

トシ本市官民克ク和衷協力日夜ノ別ナク猷身ノ努力ヲ致サレタ結果銃後ノ護ノ強化ニ資スルトコロ偉大ナルモノカアツタコトヲ確信シ茲ニ深甚ナル敬意ヲ表スルモノデアリマス。

又昭和十三年度第一次、第二次防空訓練ハ防護團幹部並指導員ノ熱誠ナル指導ト團員ノ緊張セル活動トニ依リ回ヲ重ヌルニ從テ各種防護動作ハ洗練セラレ一般市民各家庭工場等ノ燈火管制亦徹底シ極メテ良好ナル成績ヲ收メ殊ニ全市民家庭防空群ノ結成ヲ見自發的ニ涙グマシキ猛訓練ヲ敢行セラレタル其ノ滅私奉公ノ心構ヒト活動トハ絶讚ニ値スルモノカアリ衷心ヨリ感激ニ禁ヘサルト共ニ本市ノ空ノ護リガ年ト共ニ強化セラレテ参リマスコトハ御同慶ニ存スル次第デアリマス。

翻ツテ市政ノ將來ニ深く思ヒヲ廻ラス時世運ノ進歩發展ニ伴ヒ都市ノ社會的地位ハ益々重キヲ加ヘ其ノ使命ノ大ナルモノアルニ鑑ミ外近代都市ノ態形ヲ整備シ内經濟力ヲ充實シテ健全財政ヲ確立スルコトカ最モ緊要ナリト痛感スルモノデアリマス。即チ工場ノ誘致、交通機關ノ整備對策、商工業ノ振興方策ノ樹立ヲ始メトシ、農産物増産ノ施設、教育設備ノ改善刷新、市民ノ體力振興並保健衛生ニ關スル施設ノ完備隣接村ノ合併等ノ重要案件ハ何レモ其ノ内容ヲ爲スモノデアリマシテ之カ解決ノ方途ハ須ラク各會派各階層ノ相剋摩擦ヲ除去シ全市民渾然一體戮力協心以テ目的ノ達成ニ邁進ノ要アルヲ確信スル次第デアリマス。

而シテ是等事業ノ遂行ニハ人的要素ニ俟ツノ要アルハ勿論アルカ一面ニハ物的要素タル健全財政ノ上ニ立脚スルコトカ極メテ肝要デアリマシテ特ニ時局下ニアリテ物資統制ノ強化ト起價ノ抑制並ヒ行ハル、今日ニ在リテハ一層其ノ感ヲ深クスルモノデアリマス。而シテ健全財政ノ確立ニハ其ノ源泉タル市民經濟力ノ培養充實ニ俟タネハナラヌコトハ今更申ス迄モナイトコロデアリマス。

今ヤ時局ハ益重大デアリ政府ハ國家ノ總力ヲ動員シテ長期建設ノ目的貫徹

ニ努メ帝國將來ノ飛躍ニ備ヘツ、アルノ時恰モ吾等市民ハ躍進平市建設ノ大事業ニ直面シテ居ルノデアリマス。コノ難局ヲ突破シ其ノ使命ヲ遂行スルコトハ吾等平市民ニ課セラレタル一大試練デアルト申サネハナリマセン職ヲ公ニ奉スルト否トヲ問ハス其ノ責務ノ重且ツ大ナルヲ自覺シ銃後ノ國民トシテノ吾等ハ益結束ヲ固フシ寸毫ノ過怠モ無ク不動磐石ノ意氣ヲ以テ聖戰ノ目的貫徹ニ邁進シ以テ上ニ聖明ニ應ヒ奉ルト同時ニ市民トシテ良ク市政ノ將來ニ對シ深キ理解ヲ以テ躍進大平市ノ建設ハ懸ツテ吾々ノ双肩ニ在ルコトヲ自覺シ三萬三千ノ市民各位ト共ニ其ノ業務ニ精勵シ和衷協同以テ奉公ノ誠ヲ捧ケ市政ノ圓滿ナル發展向上ニ寄與セムコトヲ念願スルモノデアリマス。

以上聊カ蕪辭ヲ陳ヘテ新年祝賀ノ意ヲ表スル次第デアリマス。
昭和十四年一月一日

平市長 青 沼 鋒 太 郎

誓 詞

こゝに昭和十四年の元旦を迎へまして恭しく 聖壽の萬歳をことほぎ奉り
ますと共に事變の新しい段階に應じ愈堅忍持久の覺悟を固くし新東亞建設
の大業を翼賛し奉ることを謹んで御誓ひ申上げます。

皇后陛下御下賜品並御歌傳達

今次事變ニ於テ戰病死セラレタル陸海軍人遺族ニ對スル 皇后陛下御下賜
品並御歌傳達式ハ左記日時場所ニ於テ關係者参列ノ上嚴肅裡ニ舉行セラレ
市長ヨリ皇后陛下ノ有難キ思召ヲ各遺族ニ傳達シタリ
十二月十三日 公 會 堂 陸軍歩兵二等兵 石川正衛外八七名
十二月十九日 會 議 室 陸軍衛生伍長 馬目英三郎外壹名
十二月廿九日 第四小學校講堂 陸軍歩兵軍曹 草野 幸

方面強調週間實績

昭和十三年十二月二十日ヨリ二十六日ニ至ル全國方面強調週間ニ際シ平市社會事業助成會ハ各方面委員、區長、青年團員、愛國婦人會員ト協力シ市內ニ同情袋ヲ配付シ夫々受持區域ヲ分擔シ同情寄捨ヲ求メタルニ其ノ成績左ノ如ク年末ニ當リ惠マレナイ人々ノ爲メ救済スルコト、セリ。

一金五百六拾九圓參錢
一白米貳石八斗六升

昭和十三年末市稅納入狀況

昭和十三年十二月二十日ヨリ二十八日迄ニ於ケル市稅納入狀況ハ左表ノ如ク之レテ前年同期ニ於ケル納入狀況ニ比較スレハ成績良好ニシテ合計額ニ於テ壹萬四千六百餘圓ノ增收ヲ見タルハ一般納稅思想ノ普及及納稅組合ノ改善活動ト徵稅吏員ノ努力トニ因ル結果ニシテ銑後強化ヲ緊要トスル秋甚ダ意ヲ強フスヘキ現象テアリマス。

月日	昭和十三年末	昭和十二年末	比較
十二月二十日	四、六一六、九九	二、八九二、八四	一、七二四、四五
十二月二十一日	五、五八五、七五	四、六四三、四七	九四二、二八
十二月二十二日	八、八八一、〇九	二、八四〇、〇〇	六、〇四一、〇九
十二月二十三日	三、九二九、〇三	二、二二八、一二	一、七〇〇、九一
十二月二十四日	五、四五五、四六	五、二五四、四五	二〇一、〇一
十二月二十五日	一〇、九四九、四七	一〇、三四九、四七	一〇、三九九、四七
十二月二十六日	四、二九二、九五	一〇、九八九、四〇	△六、六九六、四五
十二月二十七日			

十二月二十八日 計 三、三四〇、一三
四七、〇五〇、八七 三、五六〇、〇二△ 二二九、八九

備考 △印ハ減ヲ示ス 年末納期十三年ハ二十六日、十二年ハ二十七
日トス

十二月中文書收受發送數

庶務	學務	產務	兵務	戶籍	社會	工務	財務	合計
四六五	一四六	一六九	三三七	三三一	一七一	六三	三一〇	一、九九二
六三五	一五三	二七六	三二七	三一八	四七〇	一一五	一一二	二、四一六
一、一〇〇	二九九	四四五	六六四	六四九	六四一	一七八	四三二	四、四〇八

十二月中公會堂使用狀況

十二月中ニ於ケル公會堂使用狀況左ノ如シ

- 一、使用回数 二〇回
- 內有料使用 六回 料金三〇、〇〇〇
- 無料使用 一〇回
- 市役所使用 四回

戶籍寄留件數 (十二月分)

本籍	非本籍	計	戶籍謄折本	閱覽	證明	計	住所寄留	出寄留	寄留謄本
出生	三九	二七	六六	二八九件					
死亡	三一	二〇	五一	二八件					
婚姻	三六	一	三七	一一件					
離婚	四	一	四	三二八件					
其ノ他	五六	三	五九	八一件					
計	一六六	五一	二一七	一一六件					一七件

市葬執行

故陸軍歩兵軍曹草野幸氏ノ市葬ハ十二月二十九日午後一時ヨリ平第四小學校講堂ニ於テ執行、青沼市長司祭者トナリ野崎委員長、副委員長、市葬係員、陸軍三長官、帝國在郷軍人會長、傷痍軍人會長、各部隊長、縣知事聯隊區司令官、札幌鐵道局長(以上代理)市名譽職員、官衙長、學校長、各種團體員ヲ始メ一般市民、學校生徒多數參列、所定ノ順序ニ依リ委員長開式ヲ宣シ一同英靈ニ拜禮ノ上神式佛式ニ依リ市長ノ祭文陸軍三長官ノ代拜知事代理ヲ始メ其ノ他遂次弔詞玉串奉奠、燒香、遺族ノ玉串奉奠燒香ヲナシ弔電披露一同拜禮、市長ノ挨拶、遺族代表ノ謝詞次テ閉式ノ辭ニテ午後三時悲シミノ盛儀ハ嚴肅裡ニ滯リナク終了シ、沿道各學校生徒階列市民送葬ノ裡ニ上平窪淨國寺へ埋葬シタリ。

辭令

昭和十三年十二月二十五日
 書記補ヲ命ス二級俸給與
 昭和十四年一月十日
 書記補ヲ命ス
 雇
 高木健三
 雇
 白土正夫
 臨時雇
 青木弘
 雇
 青木弘

告示

告示第二三號
 昭和十三年度平市歳入歳出更正豫算ノ要領左ノ如シ
 昭和十三年十二月二十三日
 平市長 青沼鋒太郎
 昭和十三年度平市歳入歳出更正豫算
 歳入
 一金六拾壹萬貳千九百拾八圓 更正豫算高
 一金六拾壹萬七百參拾八圓 既定豫算高
 歳出
 一金貳拾九萬八千參百四拾七圓 經常部更正豫算高
 一金貳拾九萬六千六百六拾七圓 同 既定豫算高

一金ナシ
一金參拾壹萬四千五百七拾壹圓
臨時部更正豫算高
經常部、臨時部合計金六拾壹萬貳千九百拾八圓
同 既定豫算高
歲入出差引殘金ナシ
(豫算表略)

市會

昭和十三年十二月二十三日市會開會附議事件左ノ如シ

- 一、寄附採納ノ件
- 一、昭和十三年度平市歲入出更正豫算
- 一、行政訴訟參加ニ關スル件
- 一、公會堂電燈契約ニ關スル件
- 一、電話加入權讓渡ニ關スル件
- 一、教員及指導員慰勞金給與ノ件

委員會

- 十二月十二日 土木委員會
- 十二月十九日 公會堂委員會
- 十二月二十日 第五小學校建築委員會

廳中記事

十二月二十日 商業學校委員會
十二月二十七日 公會堂委員會

十二月十七日 各課長主任會ヲ開キ事務取扱其他年末年始行事ニ付
協議ス

二十日 本日ヨリ一週間方面強調週間ヲ實施ス
愛國婦人會主催日之皇子誕生奉祝記念式舉行。同時
ニ市内各小學校兒童奉祝作品優良者ニ對シ平市分會
長ヨリ賞狀ヲ授與シタリ其員數左ノ如シ。

第一校 六二人 第二校 五八人 第三校 五四人
第四校 二八人
軍人遺家族定期慰問ヲナス

二十四日 軍人遺家族定期慰問ヲナス
二十八日 名譽ノ陣歿者步兵軍曹草野幸遺骨午後六時二十二分
平驛着ニ付青沼市長、市會議長、名譽職員、各官衙
學校長、軍人分會、消防組、青年團、各婦人團體其
他多數出迎弔意ヲ表シタリ

二十九日 草野幸市葬執行(記事參照)
昭和十四年一月一日 新年祝賀式舉行(記事參照)
一月四日 御用始ニ付午前十時市長代理ヨリ挨拶アリタリ
一月六日 平消防初出式舉行

市役所電話

市役所電話増設ニ伴ヒ使用區分左ノ如ク異動セリ

- 八七番 市長、助役室
- 八六番 庶務、學務、財務
- 四二七番 土木、水道、會計
- 七六三番 社會、防空、衛生
- 七六八番 戶籍、兵事、產業

昭和十四年一月十五日

發行所 平市役所

發行人 青沼鋒太郎

福島縣平市長橋町三五番地

印刷者 川崎文治

福島縣平市長橋町三五番地

印刷所 常磐每日印刷株式會社

電話 六三〇番

